

# 横大路小学校 学校だより

平成 29 年 3 月 13 日

京都市立横大路小学校

校長 門田 秀司

## 京都市立横大路小学校 3 月臨時号

お忙しい中、後期の学校評価にご協力いただきありがとうございました。集計結果をご報告いたします。今回も、前期と同様に保護者の皆様からは、95%以上の方からご回答をいただきました。今後もこの学校評価アンケートの結果をもとに、学校・地域・家庭が互いに連携しながら、学校の教育活動の一層の充実を図りたいと考えていますので、より一層のご理解、ご協力をよろしくお願ひ申し上げます。

今回の学校評価アンケートでも、前期と同様に児童・保護者ともに概ね高い評価となりました。

例えば、児童評価⑦「あいさつ」の項目では、前期では「よく出来ている」と回答した児童が前期では35%でしたが、今回は43%と8%増加しています。

③「進んで発表」の項目では、保護者評価で「よく出来ている」「大体できている」の合計が、前期の66%が今回は88%と大幅に増加しています。また、児童と保護者の85%以上が、「学校は楽しい」「授業はよくわかる」とプラス評価をしています。

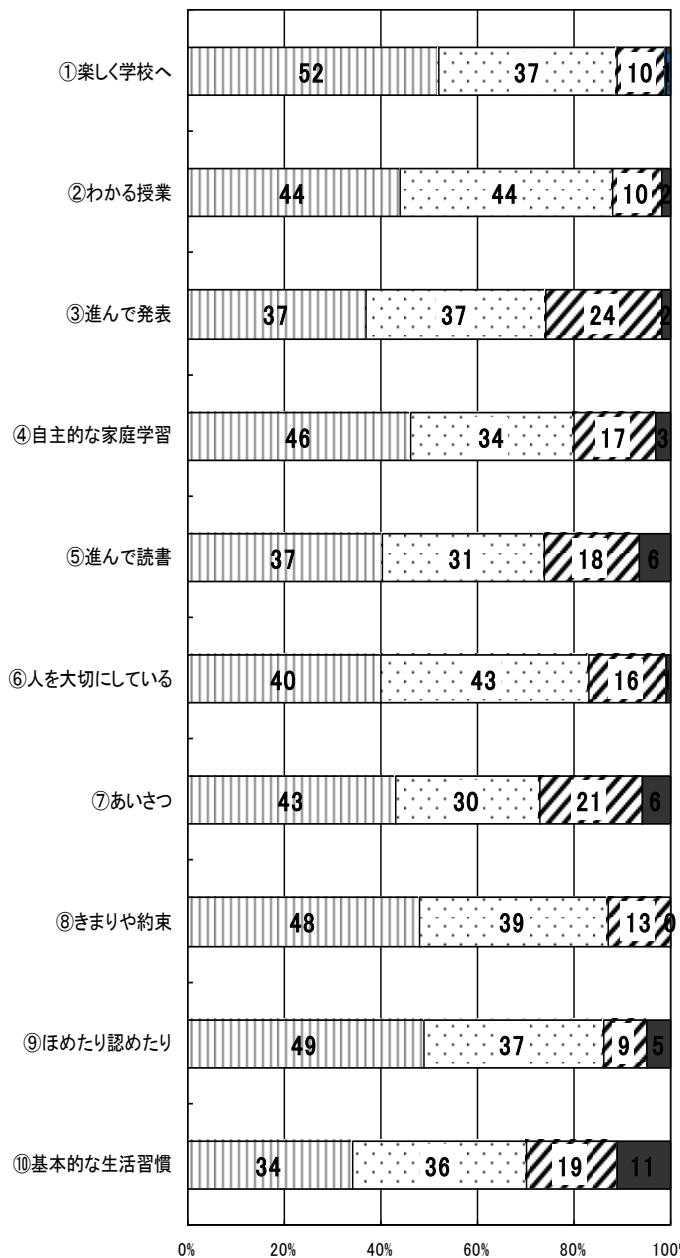
しかし、④「自主的な家庭学習」や⑤「進んで読書」⑩「基本的な生活習慣」などの項目では、児童と保護者、教職員との評価に違いが見られます。例えば、⑤「進んで読書」の項目では、児童の37%が「よく出来ている」と回答しているのに対し、保護者は13%、教職員は23%と大きな違いがあります。児童は、自分では読書をがんばっていたり、家庭でも進んで学習したりしているつもりでも、保護者や教職員からは、まだ努力が不足しているように感じているようです。ただ読書については、低学年では学校で借りた本を家庭に持ち帰らずに、学校で読書をしていることが多少影響していると考えられます。

また、「自主的な家庭学習」では、家庭で学校の宿題はするのですが、読書や自主的な学習(自主勉)が定着していないのではないかと考えられます。これまでも学級便りや懇談会などでお知らせしたように、学校では、家庭での学習や読書の時間を「学年×15分」(例6年生では $6 \times 15 = 90$ 分)に目標にしています。低学年から、家庭で宿題だけでなく、自主勉強や読書をしつかりする習慣を身に付けてほしいと考えています。

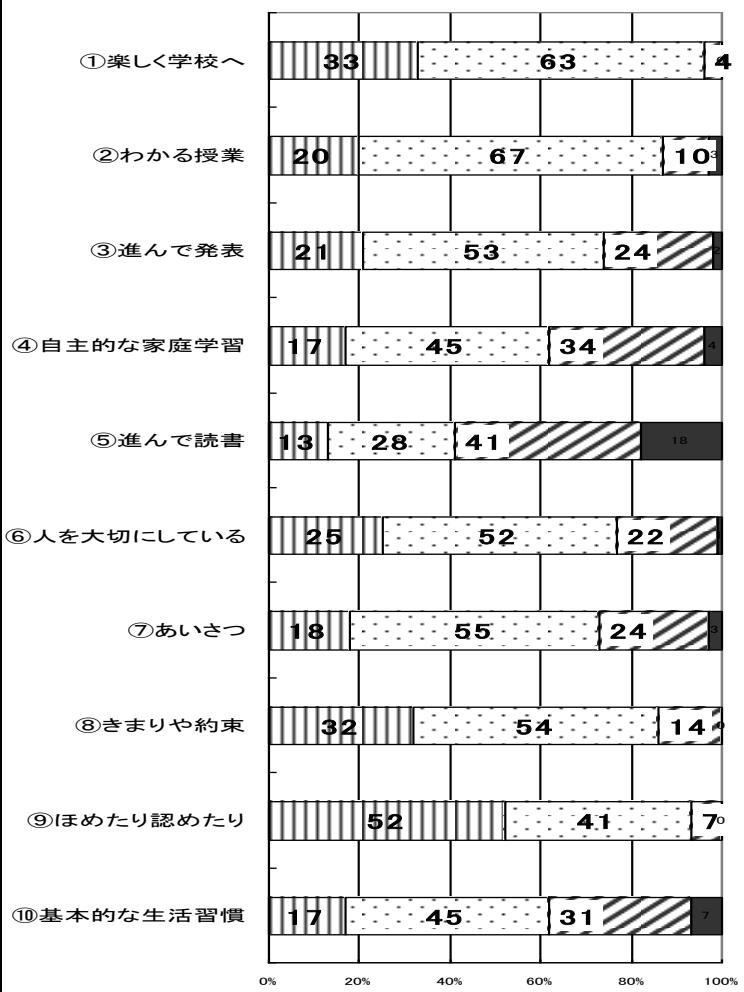
学校では、今回の評価結果をもとに、一層信頼される学校づくりを目指したいと考えていますので、今後ともご理解、ご協力をよろしくお願ひいたします。

- 4 (よく出来ている)
- 3 (大体できている)
- 2 (あまり出来ていない)
- 1 (出来ていない)

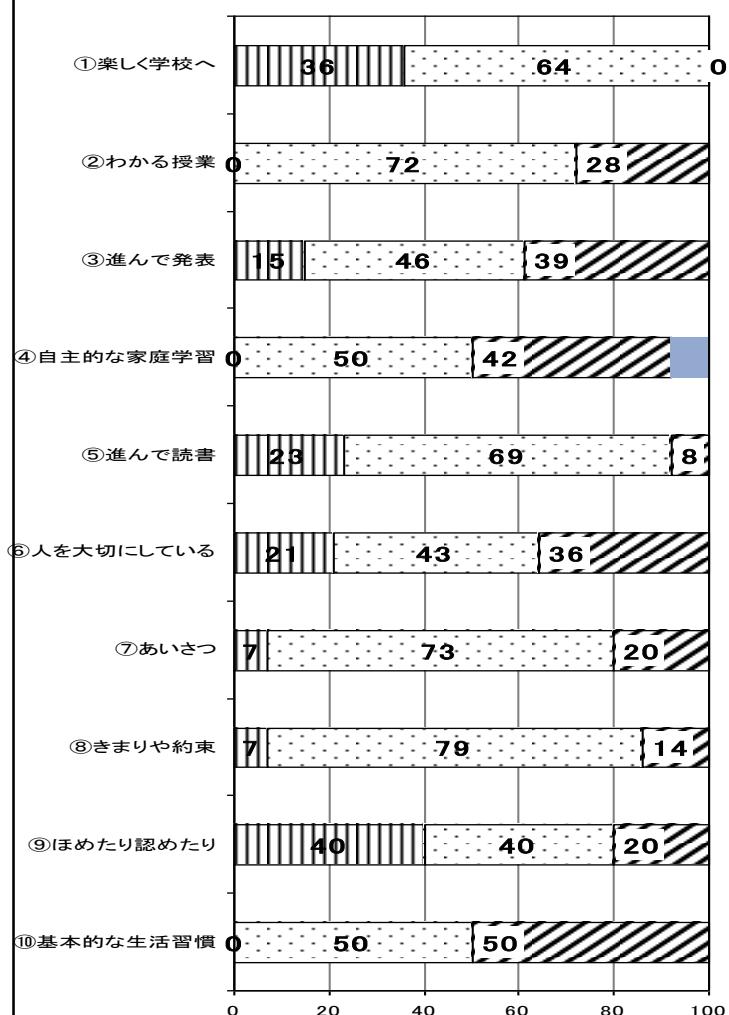
## 児童集計



## 保護者集計



## 教職員評価



### 保護者の皆様からのご意見の一部(自由記述欄より抜粋)

- アットホームな学校なので、子どもが担任以外の教職員のことを話したり、担任以外の教職員も子どもたちの名前を覚えていたり話題にしてくれたりすることがうれしいです。
- 横大路小学校特有の縦のつながりで、大人では教えられないことを子どもたちが互いに体験したり学び合ったりすることができ、安心して学校生活をおくれていることがよくわかります。
- 土曜日などの休日などの行事にも、自分から参加しています。休日にも行きたがるのは、行事の内容だけでなく、学校が好きだからだと思うとうれしいです。
- 教職員が子どもたちの小さいがんばりを認めてくださり、苦手なところも自分からがんばろうとする姿が見られるようになりました。自分に自信が出てきたように思います。
- 以前と比べて、学校での出来事などをわかりやすく説明できるようになってきました。自分の気持ちを上手に伝えられるように、成長したことをうれしく思います。

### 学校運営協議会理事会で理事の皆様からの外部評価

- 今年度は1年生が2クラスになるなど、学校の児童数が少しづつ増加しているのは、うれしいことだ。
- トイレ工事が完成したが、今後も施設の充実を図り、学校移転が実現できるよう働きかけていきたい。
- 「全教職員が子どもたちの担任」を合言葉に、教職員が子どもたちにかかわっていることが、保護者などに評価されている。今後も、子どもたち一人一人を大切にする学校の取組を一層推進してほしい。
- 読書や「あいさつ」の項目については、学校だけでなく、やはり家庭の問題が大きい。大人が、子どもたちの見本となるようにも進んであいさつをしたり、本を読んだりすることが大切だ。